

コロナ対策等の補正予算を可決

2月18日の本会議において、一般議案とともにコロナ対策等の緊急の補正予算を議決。引き続き、4年度予算をめぐって集中的な審議を行っています。

《決定した主な施策》

● ワクチン3回目接種の加速と5～11歳の小児接種の実施へ

■ 小児接種について

5～11歳の対象者へ、3月4日に接種券を発送します。

■ 予約開始時期 ※3月7日～18日 基礎疾患のある方の優先接種

10～11歳 3月19日(土)以降

7～9歳 3月26日(土)以降

5～6歳 4月1日(金)以降

■ 接種場所・予約方法

小児科を中心とした個別医療機関で直接予約、接種



● 住民税非課税および家計急変の世帯に10万円を給付

● 就労系障害福祉サービス事業所を支援

感染防止対策や販路拡大・生産活動の転換等のための補助金を交付

● マイナンバーカードの普及を加速

公明党の提案で実現したマイナポイント付与(カード取得時に5,000円分、保険証および銀行口座とのひもづけでそれぞれ7,500円分)についても登録窓口・サポートを強化

横浜市会 令和4年
第1回定例会が開会中

横浜市会
1月31日(火)から3月23日(水)まで

64歳以下
「接種券なし接種」を
集団接種会場で実施

《要件》

- 2回目接種から6か月以上が経過
- 基礎疾患のある18歳以上の方
- 50～64歳の方 など

詳しくは横浜市ウェブサイト
新型コロナワクチン接種特設ページ 検索

市長の公約「3つのゼロ」は封印?

令和4年度予算案の審議に先立ち、山中竹春市長より市政運営の基本方針と予算案について所信表明がありました。市長肝いりの公約である「出産費用ゼロ」「子どもの医療費ゼロ」「敬老パス自己負担ゼロ」の3つのゼロと、「中学校給食の全員喫食」はいずれも予算化を見送り。厳しい財政と行政の継続性を踏まえた、現実的な提案と受け止めています。市民生活の安心安全、横浜市の持続的な成長へ、建設的な議論を重ねて参ります。



デジタル化に向けて21の提言

私が副委員長を務める、デジタル化推進特別委員会で作成を進めてきた「横浜市役所内のデジタル化の推進に向けた提言」を、2月16日、市の最高情報統括責任者である小林一美副市長に提出。職員の意識醸成、ハード環境の整備、誰一人取り残さないサポート体制という3つの視点から、21項目の具体的な取組を提案しました。

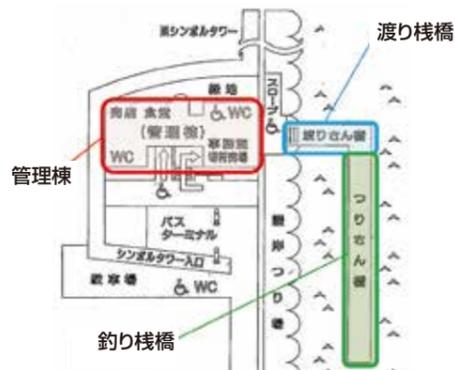
本牧海釣り施設が全面復旧へ!

令和元年9月の台風で破壊され、利用が大きく制限されていた同施設。大切な市民施設として公明党市議団で早期復旧を要望し、後押ししていましたが、いよいよ3月下旬に全面供用を再開します!

- 2月5日 管理棟(トイレ・売店等)再開
- 3月下旬 釣り桟橋 全面開放
- ※ 渡し桟橋は、3月下旬まで毎週日曜日のみ開放



▲管理棟も完全復旧



たけのうち通信 Vol.83

takenouchi News

公明党

発行責任者: 竹野内 猛(横浜市議員)
〒236-0052 横浜市金沢区富岡西3-38-1-101
TEL: 080-9804-9782 FAX: 045-345-4345
E-mail: info@takenouchi-takeshi.com

三浦のぶひろ参議院議員と連携して 金沢区の賑わい・成長へ全力!

公明党の
国会・地方
議員のネットワーク

金沢海釣り施設(仮称)・遊歩道が令和5年度にオープンへ!

台風で破壊された護岸を、賑わいと憩いの場として再生



令和元年9月に横浜港を直撃した台風15号で破壊された、福浦・幸浦地区の護岸復旧に合わせて、上部を海釣り施設や遊歩道として開放することを提案し、施設の設置検討が進められていました。このたび国庫補助事業に認定され、いよいよ令和4年度の工事実施、5年度中の供用開始が決定しました。

◀護岸上で三浦のぶひろ参院議員とともに、横浜市港湾局長より、施設整備について説明を受ける

台風被害からの復興と公明党のアクション

令和元年	9月9日	台風直撃で護岸が損壊、周辺事業所の広範に甚大な浸水被害
	12日	赤羽国交大臣と共に横浜港の被災地を視察、福浦・幸浦岸壁の被災状況を報告
	18日	中野経産大臣政務官を伴い、福浦・幸浦地域の被災状況を視察
	10月16日	市会で被災地復興の補正予算(護岸の強靱化、被災企業への補助金)を議決
令和2年	3月	市会で最初に「護岸上部に海釣り施設・遊歩道の設置」を提案・要望 →港湾局長より「設置検討を進める」との答弁
令和2年	9月	護岸への消波ブロック投入・設置完了
令和3年	3月	市会で「海釣り施設・遊歩道設置の早期事業化」を重ねて要望 →港湾局長より「早期の事業化を目指す」との答弁
	9月	護岸の嵩上げ、内陸部への防潮ブロック設置が完了(護岸強靱化工事が完了)
令和4年	2月	(国庫補助事業の認証増を受け)海釣り施設・遊歩道整備の予算(1.5億円)を計上

施設の主な仕様

懸案の違法駐車や ゴミ問題にも万全の配慮!

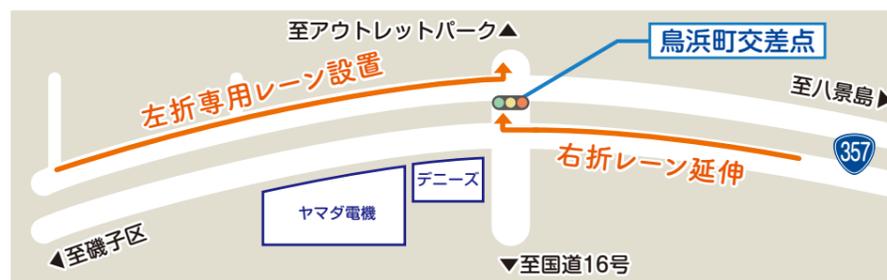
- 福浦2丁目に接する幅5m、長さ1Kmの護岸上を開放
- 約200台分の駐車場、緑地広場を整備
- 護岸上のアクセスヘスロープと階段を整備
- 管理棟(トイレ・売店等含む)を設置し、ゴミ等の衛生管理・安全巡回も実施

国道357号・鳥浜町交差点の拡幅・改良が実現へ!

左折専用レーン新設で4車線化など、渋滞緩和へ前進

ランチ横浜南部市場、アウトレットパークの開業、大規模な物流施設の設置計画に加え、国道357号の横須賀方面への延伸、横浜環状南線の開通などにより、さらなる混雑激化が予想され、近隣の住民や事業者団体である金沢団地協同組合より対策のご要望を頂きました。

そこで事業者・区役所・横浜市関係局による協議体の設置を提案し、信号機の時間調節や分散駐車場の推進、交通案内の強化などを進める一方、三浦のぶひろ参院議員と連携し、国道を管轄する国交省へ、国道の拡幅と鳥浜町交差点改良の申し入れを実施。さらに横浜市からの要望も重ね、その結果、国交省予算1.5億円が計上され、左折専用レーンの新設で交差点を4車線化するなど、今年度内の工事着工が決定しました。



▲工事予定地で三浦のぶひろ参院議員とともに横浜国道事務所長より説明を受ける

たけのうち猛
オフィシャルサイト
takenouchi-takeshi.com



https://www.facebook.com/takenouchit/

https://twitter.com/takenouchi_t

QRでLINE
お友達登録



公明党・たけのうち猛の提案・要望が 令和4年度予算案に大きく反映されました

新たな賑わい創出へ、着実な環境整備



●**金沢区へのアクセス性向上で観光・物流を活性化**
横浜環状南線・横浜湘南道路について、それぞれ令和7年、令和6年の開通へ工事を急ピッチ。また国道357号の横須賀方面への延伸工事は、橋脚設計のため平潟湾内の調査を進めています。

- 金沢海釣り施設(仮称)の整備が実現へ** → 1面に詳報
- 国道357号・鳥浜地区の渋滞解消へ** → 1面に詳報

●漁港を改修して、市民に開かれた賑わい施設へ

4年度は柴漁港の新たな飲食・直売所の設計、金沢漁港では浮桟橋の改修、手すり設置などを引き続き実施します。千客万来の賑わい施設へ、改修が着実に前進!

●金沢の海の環境改善へ着実な取り組み

3年度は水中ドローンなどを活用した海底ゴミの試験的な調査が実現。4年度は海底ゴミの回収の試行、環境への影響調査なども予定しています。

●金沢区の魅力を広く発信

横浜観光情報サイトで「横浜で鎌倉時代を旅しよう!」と、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」と連動したプロモーションを実施。称名寺、瀬戸神社、富岡八幡宮など、鎌倉時代にゆかりのある金沢区内の多数の史跡を紹介しています。



▲現在の柴漁港の直売所

防災・減災への備えをさらに強化

●学校体育館へのエアコン設置を加速

公明党の提案により令和元年度から事業を開始し、これまでに61校に空調設備・スポットクーラーを設置。さらに4年度には市内28校へ空調設備、10校へ大型冷風機を設置予定です。



金沢区内ではこれまで
西富岡小学校、
大道小学校、
金沢中学校に設置
4年度小田小学校、
富岡中学校
などへ設置を予定

●老朽化したブロック塀の改修促進へ

補助事業を延長し、より利用しやすく補助単価と上限額を増額します。

除却費用	13,000円/m ← 9,000円/m
生垣の設置	13,000円/m ← 3,000円/m
補助上限額	最大50万円 ← 30万円



●風水害への備え強化へ

■浸水ハザードマップを作成

- ★「内水」「洪水」「高潮」の各マップを1枚に
- ★激甚化に対応し、内水ハザードマップの時間降雨量を153mm想定に改訂
- ★4年度に全戸配布を完了へ

■スマートフォン専用サイト「横浜市水防災情報」を開設
河川水位など、リアルタイムの情報発信を強化。



▲スマートフォン専用サイト「横浜市水防災情報」

教育環境をさらに充実、子育てを力強くサポート

●「医療的ケア児」支援がさらに充実

- 福祉車両などによる通学支援を拡大(車両:7台→20台)
- 学校で医療的ケアが必要な児童生徒への訪問看護師派遣を拡充(対象:17人→29人)
- 肢体不自由特別支援学校への看護師配置を拡充(配置数:30人→35人)
- 保育・教育施設での受入れのためガイドラインを策定、看護師雇用経費の助成を拡充



★人工呼吸器など学校内での高度な医療的ケアを実施し、全保護者の付き添い解除を目指します。また在宅生活、地域での受入れを支援するコーディネーター養成も引き続き実施します。

●「放課後児童クラブ」支援を大幅に拡充

- 支援員等の給与を月額9,000円アップ
- 夜間や学校休業日など、基準を超過する開所時間分の補助を加算
- 職員の事務や雑務に対する加算制度を新設
- 医療的ケア児のための看護師配置へ支援制度を創設

★補助金制度に関する事務を簡略化して保護者負担を軽減
職員の確保・育成に関する支援を拡充

●待機児童解消へ、1・2歳児受入を強化!

- 1歳児枠拡大に向けた定員構成見直しへ補助を拡充
- 施設改修費用の補助制度を新設。
- 1、2歳児受入枠の拡大に対する加算をモデル実施
- 預かり保育への補助を拡充し、実施園を増設

★保育園・幼稚園の受入枠も拡大

保育所の新設、認可保育所への移行支援などで市内全域で新たに1,290人分を確保します。

●保育士等の処遇をさらに改善

- 新規 全ての保育士の給与を月額9,000円アップ
- 継続 経験年数7年目以上の保育士の給与を、国の制度と併せて月額4万円加算
- 継続 採用10年目までの保育士向けに、家賃等(月額82,000円上限)を助成

●「中学校給食」がさらに利用しやすく!

3年度86校で実施した、新一年生が皆で給食を食べる「さくらプログラム」を4年度は全145校で実施。併せて、受け渡し時間短縮のため配膳の工夫もなされ、給食を利用しやすい環境整備が進みます。

●不登校児童生徒へ寄り添った支援を強化

不登校児童支援員の配置を拡充(20校→35校)し、1人ひとりの状況に沿った学習、社会的自立に向けた支援を強化。また一人一台端末を活用したオンライン学習支援も、引き続き実施します。



▲各教室の前で受渡し、皆でそろっていただきます!

誰もが安心して暮らせる街へ

●市営・瀬戸橋住宅の建替に着工～令和6年度の完成へ

エレベーター、手すりなどバリアフリーはもちろん、浴室・キッチン・洗面の3点給湯、断熱性能、LED照明など環境への配慮も備えた快適な住まいとなります。※六浦住宅について4年度は建替えに向けた基本設計を実施。また瀬ヶ崎住宅の解体、南三双住宅、塩場住宅など区内その他の市営住宅についても、順次再生へ向けた検討を行います。

●イオン金沢八景店周辺の放置自転車対策が前進

新年度に放置自転車の撤去と有料駐輪場の新設を予定しています。

●空家対策のさらなる強化へ

公明党の推進した昨年の条例制定により、早期の危険回避措置が図れるようになり環境改善が前進。さらに自主改善の促進、指導の効率化を進めます。



▲新・瀬戸橋住宅の完成イメージ

建替え前の124戸から178戸へ増室。建物1階に集会室、敷地内に消防団器具置き場も設置されます。